

献血のお知らせ

楽しく
社会貢献！

9月1日(水)

受付時間 13:45~16:00

受付会場 医療法人徳洲会
古河総合病院

※医療機関の要請により当日は400mL献血のみのご協力のお願いとなります。



当日服用しても献血できる薬がたくさんあります!!

血圧・高脂血症・痛風・アレルギー・胃腸薬などの薬は、一部を除き基本的に**献血可能**です。処方薬の名前（メモ可）を、当日受付職員までお知らせください。

※医師の総合的な判断でご遠慮させていただく場合もございます。予めご了承ください。



献血前に、ご自分でチェックを!

確認事項

以下の項目に該当する方が献血をすると、輸血を受けた患者さんに、深刻な状況をもたらす場合があります。そして献血いただくあなた自身も、健康を害する場合があります。献血の際は、必ず慎重に自己確認を!

1つでも該当する方は、今回の献血をご遠慮ください。

- 体調が優れない
 - 3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯・歯石除去等）を受けた
 - 4週間以内に海外から帰国（入国）した
 - 1ヵ月以内にピアスの穴を開けた、またはいれずみ（刺青）をした
 - 24時間以内にインフルエンザなどの予防接種を受けた
 - 過去に輸血や臓器移植を受けた
- 以下に該当する方は、職員・検診医にご相談ください。
- 3日以内に薬を服用・使用した ※薬剤名が必要です
 - 海外滞在歴がある

※上記に該当しない方でも、検診医の判断で献血をお断りすることがあります。

400mL 献血にご協力ください

お願い

人間一人ひとりの血液は、血液型が同じでも微妙に違っているため、複数の献血者の血液を合わせて一人の患者さんに輸血するほど、副作用（発熱・発疹など）発生の可能性が高くなります。400mL献血は200mL献血より少ない献血者からの輸血を可能にするため、患者さんへの負担を軽くすることができます。日本赤十字社では、採血基準を満たした方には、400mL献血のご協力をお願いしています。

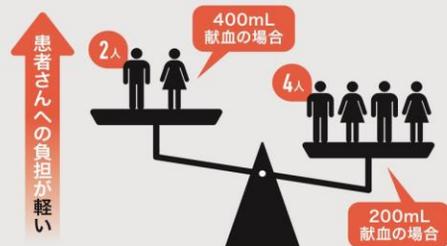
400mL献血の主な基準

年齢	男性	17~69歳*
	女性	18~69歳*
体重	男性	50kg以上
	女性	
年間献血回数	男性	3回以内
	女性	2回以内

※65歳以上の方の献血については、献血いただく方の健康を考慮し、60~64歳の間に献血経験がある方に限ります。

例 800mLの輸血に必要な献血者数

400mL献血は患者さんの副作用発生の可能性が低く、安全性が向上します。



献血いただける方へ

必要不可欠な献血



献血ってどうして必要なの？



病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があります（「輸血」といいます）。その輸血に欠かせないのが「献血」です。献血とは、輸血を受ける患者さんのために、自分の血液を無償で提供することです。

献血が必要なわけ

人工的に造れない！

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、**血液はいまだに人工的に造ることができません。**だから、「献血」でたくさんの人から血液を集めるしかないのです。

長期保存ができない！

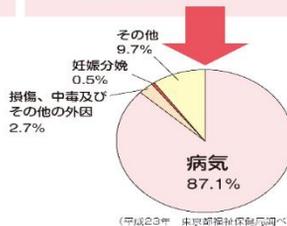
血液は生きた細胞の集まりなので、**長い間保存ができません。**いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

1日約3千人！

何の数字だと思いますか？
実は、**輸血を受けている患者さんの数**なんです。
毎日、こんなに多くの患者さんが、血液を必要としています。

最多はがん治療！

輸血はどのような時に使われるのでしょうか？
多くはがん治療で、約40%を占めます。
このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。



けが治療はわずか2.7%で、ほとんどは病気の治療に使われているっしょ！



服薬していても協力できる場合があります！

★ 服用していても献血可能なお薬 ★

当日服用していても献血可の薬（一例）

ビタミン剤、ミネラル剤、漢方薬、非ステロイド系抗アレルギー薬、抗ヒスタミン薬（セレスタミンを除く）高脂血症治療薬、高尿酸血症治療薬、胃腸薬、降圧薬など

※ 花粉症の薬は、セレスタミン以外のアレグラ、アレロック、ジルテックなどは献血可能です

当日服用していなければ献血可の薬（一例）

内服筋弛緩薬、睡眠薬、抗不安薬、マイナートランキライザー、利胆薬 など

※ 当日症状がないことが条件ですが、市販の風邪薬（パブロン等）や頭痛薬（ロキソニン等）は前日までの服用なら献血可能です

72時間服用していなければ献血可の薬（一例）

抗菌薬（抗生物質、合成抗菌薬）・抗真菌薬・抗結核薬、抗ウイルス薬など

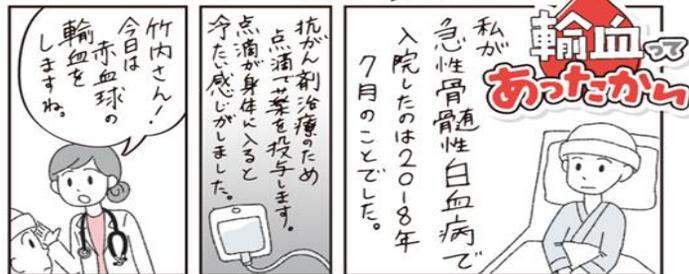
※ 受付前に薬名のご確認をお願いします。医師の総合的な判断でご遠慮させていただく場合があります。

献血後の一時的な貧血症状等を防ぐため、献血当日は直前の睡眠4時間以上および朝食または昼食をとってお越しくださいね。

患者さんからのありがとう



このマンガはご本人の体験を基にしています。



※血小版のイメージ